



2/10 の寮でテト（ベトナムの新年）を祝った実習生達の手作り料理

2月に入りました。立春を過ぎ暦の上では「春」となりました。それでも例年この時期は寒さが厳しく、実習生の皆さんにとって、来日するには最も辛い季節と言えます。ところが今年は暖冬の恩恵？で、比較的暖かい日が多いので、風邪等で体調を崩す実習生もほとんどなく、皆さん毎日元気に日本語学習に取り組んでいます。

また、今月10日（土）は中国・ベトナムの元日となりました。家族と遠く離れての年越しとなりましたが、新年が週末と重なったのでルームメイトと母国の料理を作って、楽しく新年を迎えた実習生が多かったようです。

あじけんスコープ Vol.127 ～2024年第1回講師研修会～



去る1月26日（金）今年初となる講師研修会が行われました。講習会では、昨年の授業実践の課題を踏まえ、授業に集中できない実習生、日本語学習を諦めてしまう実習生に対する日本語学習へのモチベーションを上げるための方略について話し合いました。

話し合いでは、クラス内の日本語習熟度を的確に把握し現状にあった学習内容を提供することの大切さや、学習者が楽しく学べる学習内容、また、学習目的の明確さの必要性等の意見が出ました。今回の研修の成果を活かし、実習生の皆さんが、自ら進んで楽しく学習できる日本語授業の実践に取り組んでいきたいと思ひます。

モチベーションアップの為の方略について話し合う日本語講師

今月の実習生 番外編 ～企業内転勤のクラスメイト紹介～

今月は番外編として、先月末に企業内転勤のビザでフィリピンから来日し、現在、当校で初級日本語の学習に取り組んでいる GRACIA RAFFY LANDICHO（ラフィ）さんと、ASUNCION AVEGER LANANG（アヴェ）さんを紹介しつゝ、2人とも来日前の日本語学習期間は0時間で、日本語がほぼ分からない状態でしたが、およそ2週間の学習を経た今では、日本の生活にも慣れ、挨拶や簡単な質問には、何とか応じることが出来るようになってきました。ひらがな・カタカナも定着しつつあり、頑張って自己紹介も書くことが出来るようになってきています。



はじめまして。
わたしは アスンシオン アベゲル です。今年1月26日に 日本
に参ります。わたしの 母国は フィリピン です。
この月が 参り 参る 参る 参る 参る 参る 参る
フィリピン から 参りました。しごと は 清掃員 です。
わたしの 趣味は バスケットボール を 参る 参る 参る 参る 参る
はじめて ゆず を 参りました。とても 参りました。ア
アヴェ よろしく 参ります。

はじめまして
わたしは ガルシア ラフィー ランディッチョ です。
ラフィー ランディッチョ です。
フィリピン から 参りました。
さんじゆうさん さんじゆうさん さんじゆうさん
はこんして 参ります。参ります。参ります。参ります。参ります。
アヴェ よろしく 参ります。

あじけん流日本語授業

～「私の国の大切な日」を発表する～

今月のあじけん流日本語授業は、2月10日の旧正月にちなみ、自分の国の大切な日を発表するというテーマで行った授業をご紹介します。

まず、それぞれの国に分かれてグループを作ります。その中から一つの国のグループを取り上げ、どんな内容を発表したらいいのか、講師とやり取りをしながら考えてもらいます（写真①）。次の国のグループは、発表したい内容をできる範囲で説明をします（例えば、「タイのソンクラーンの日です。水をかけます。」など）（写真②）。そのあと、クラスメートから質問（例「その日は何を食べますか?」「何をしますか?」など）を受け付け（写真③）、それに答えることによって、発表する内容をまとめていきます。

全グループが終わったら、ポスターの作成をします（写真④）。このポスター作成時には、作成時間を区切り、「きれいに、早く」などの声かけをしながら、実習先で必要になるだろう心構えも経験してもらいます。ペンも人数分よりも少なめに用意し、「～を貸してください」「ありがとうございます」などの日本語がすぐに出てくるよう、目を配ります。

出来上がったポスターは、きぼうビル4階ロビーに掲示をしました（写真⑤）。ご来校の際は、ぜひご覧いただければ幸いです。

それぞれの国の大切な日を発表することで、ふだんおとなしい実習生も「伝えたい」という気持ちが強くなり、たくさん発話をしていました。これからも実習生の学習へのモチベーションが保たれるような授業を研究していきたいと思えます。

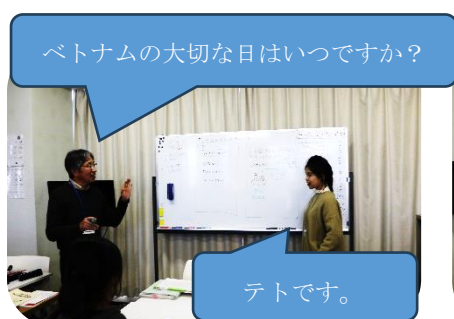


写真1：講師と話します



写真2：大切な日を発表します



写真3：クラスメートの質問に答えます



写真4：ポスターを作成します



写真5：記念撮影